



Hachioji MAIL NEWS

輸送サービス労組 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS' UNION HACHIOJI



ホームページ

2023.04.14

No.102



Twitter

八地申
第19号

「武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について」に関する 申し入れ

4/13
提出

2021年11月に「武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について」提案されて以降、具体的な進捗状況が説明されないまま今日を迎えています。

東所沢電車区内では、基地再編にむけたワーキンググループ「わくイノタスクフォース」にて、執務フロアのレイアウトについて等議論がされているようですが、規模などの詳細は職場ではいまだに説明がありません。更には2023年2月20日に会社より「武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について」の修正提案がされたものの、資材不足のみを理由とし、施策の実施時期が2024年3月に変更された以外は検討中とされ、施策実施まで1年を切ったにも関わらず、具体的な内容は一つ示されません。

東所沢電車区分会が職場管理者に対して質問しても「今の段階では発足日や規模などは聞いていない。情報がまとまっていないため今は回答しない」「支社では検討している」「わからない」「決まっていない」などの回答を繰り返しています。その中で、副長の異動や2023年3月ダイヤ改正より蘇我運輸区京葉派出所の乗務員による東所沢～府中本町の乗務が開始されています。更には、西船橋運輸区(仮称)の発足を待たずに、2022年12月に1名の社員が蘇我運輸区京葉派出所へ異動しました。2023年3月のダイヤ改正時には、東所沢電車区から蘇我運輸区京葉派出所へ行路移管が実施されており、現場では基地再編に向けた準備が進んでいるかの様なさまざまな動きも散見されます。

現場の社員に具体的な説明がされないまま施策実施日を迎えることは、組合員だけではなく東所沢電車区や基地再編に関わる全ての職場の社員の不安は募るばかりです。これらの不安要素は、乗務員という特殊性から鑑みても、日々の業務・安全問題に直結する重要な課題であると言えます。

全組合員・基地再編にかかわる全ての社員が安全で安心して働ける職場、輸送品質の向上に向けて下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

【申し入れ項目】

1. 提案時に「安全・安定輸送の更なるレベルアップ、効率的な業務執行体制の実現に向けて」基地再編を実施すると示されたが、本施策を通じてどの様に行うのか具体的に明らかにすること。
2. 提案時に「設備整備（ハード面）を着実に進める」と示されているが、どの様に進めていくのか具体的に明らかにすること。
3. 提案時に「安全・安定輸送のレベルアップを図り、輸送サービススタッフとしての働き方の実現に向けて、業務運営（ソフト面）のブラッシュアップを進めていく」と示されているが、どの様に進めていくのか具体的に明らかにすること。
4. 京葉線・武蔵野線における乗務員基地再編成を実施するにあたり、安全・安定・サービス、それぞれの品質をどのように向上させていくのか、具体的に示すこと。
5. 東所沢運輸区（仮称）発足までの工事計画ならびに完成後の内覧、東所沢電車区から東所沢運輸区（仮称）への社員の移動や荷物の搬送等のスケジュールについて、社員の負担軽減の観点から具体的に明らかにすること。
6. 東所沢運輸区（仮称）に配属される社員数（運転士・車掌・内勤など内訳）の詳細を明らかにすること。また、東所沢運輸区（仮称）への異動対象となる職場及び異動のスケジュールについて具体的に明らかにすること。
7. 武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編に伴い発足する職場毎の担当する線区ならびに区間について具体的に明らかにすること。
8. 武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編に伴う異動については、本人の希望を尊重すること。また、本施策に特化した面談の実施に対する会社の考え方を具体的に明らかにすること。